

外部評価シート〔施策評価〕

戦略Ⅲ－3 魅力あふれる中山間地域活性化プロジェクト

施策名 3-3-1 既存住民の定住支援と集落の活性化

氏名 ○○ ○○

代表指標①	住みやすく便利な暮らしができていると思う市民の割合（中山間地域） (H21) 38% → (H26) 55%
-------	---

以下の外部評価欄の選択肢に○を付け、理由や意見を記載してください。（「妥当」の場合は、○を付すだけでも結構です。）

①「指標の適確性」の再評価

内部評価の結果	外部評価
「便利な暮らし」でなく、代表指標は「住みやすさ」に特化すべき。	内部評価の結果は ア 妥当 <input checked="" type="radio"/> イ 妥当ではない [理由・意見] 施策目的は「定住」と「活性化」であるため、「住みやすさ」だけでなく、教育、医療、仕事(収入)などを含めた「生活しやすさ」を指標とする必要があるのではないか。また、目標値である「55%」の根拠が不明なため、併せて解説が必要。

②「施策の課題と原因」の再評価

内部評価の結果	外部評価
【課題】 ○既存住民、特に若年層の流出が続いている。 ○集落活性化が十分でない。 【原因】 ○既存住民、特に若年層にとって生業とする仕事場が少ない。	内部評価の結果は <input checked="" type="radio"/> ア 妥当 <input type="radio"/> イ 妥当ではない [理由・意見] 課題、原因ともに妥当。山村が今後も存続し続けるためには若年層の定住が必要であり、そのためには、安定的な収入の得られる仕事場の確保が重要となる。

③「課題解決の方向」の再評価

内部評価の結果	外部評価
【課題を解決するための取組】 ○住みやすさとともに、働く場について検討していく必要がある。 ○当該地域住民のニーズを確実に把握したうえで、既存事業の見直し等を実施していく必要がある。	内部評価の結果は ア 妥当 <input checked="" type="radio"/> イ 妥当ではない [理由・意見] 課題解決の取組に具体性がない。どのような人たちをターゲットに、どのように仕事を確保していくのか、既存事業をどのように見直ししていくのか、まず、市としての方針を立てる必要がある。

④～⑧「構成する主要事業」の再評価

内部評価の結果は ア 妥当 <input checked="" type="radio"/> イ 妥当ではない [理由・意見] 費用対効果の評価が、「野生鳥獣被害対策」はB、「自主運行バス」はCとなっているが、5年間の事業費を考えると更に低い評価とすべきではないか。また、「複式学級への非常勤講師の配置」と「放課後子ども教室の実施」を優先順位1位、2位としているが、定住や活性化に直接結びつく事業を上位とすべきではないか。

⑨その他

今後取り組むべき(または力を入れていくべき)事業が <input checked="" type="radio"/> ア ある <input type="radio"/> イ ない [理由・意見] 現在の主要事業のなかでは、仕事場の確保として主に農林業を対象としているが、新東名が開通したことから、他の産業の誘致も行っていくべきではないか。 [その他全体をとおしての意見、3次総に向けた意見・提案] この施策が、政策「山村と都市が共生・共有するまちの実現」にどのように貢献するのか、市民に分かりやすく示していく必要がある。

政策名 3-3 山村と都市が共生・共有するまちの実現

氏名 ○○ ○○

代表指標① 中山間地域の保全に関心がある市民の割合 (H21)74%→(H26)90%

以下の外部評価欄の選択肢に○を付け、理由や意見を記載してください。(「妥当」の場合は、○を付すだけでも結構です。)

①「指標の適確性」の再評価

内部評価の結果	外部評価
都市が中山間地から享受する恩恵を共有することは、山村との共生に直結することであるため、代表指標として妥当。	内部評価の結果は ア 妥当 <input checked="" type="radio"/> イ 妥当ではない [理由・意見] 「中山間地域の保全に関心のある市民の割合」は、政策のごく一部を表しているに過ぎないため、政策がどの程度実現したかを測るためには、他のいくつかの指標と組み合わせる必要がある。

②「政策の課題と原因」の再評価

内部評価の結果	外部評価
【課題】 ○中山間地の保全の必要性、恩恵について市民理解が十分でない。 ○中山間地の魅力が都市部住民に浸透していない。 【原因】 ○都市と中山間地の交流不足。 ○市民へのPR不足。	内部評価の結果は ア 妥当 <input checked="" type="radio"/> イ 妥当ではない [理由・意見] 【課題】 課題は、4年間の事業の実施が「中山間地域の保全に関心がある市民の割合」を向上させることにつながらなかったことにあるのではないかと。 【原因】 知らなかったことだけが、「関心のある市民の割合」が向上しなかった原因ではないと考えられるため、詳細な調査、分析を行ってほしい。

③「課題解決の方向」の再評価

内部評価の結果	外部評価
【課題を解決するための取組】 ○移住促進や、交流促進などの既存事業の着実な実施。 ○新規事業の検討。 ○オクシズの魅力PR推進。	内部評価の結果は <input checked="" type="radio"/> ア 妥当 <input type="radio"/> イ 妥当ではない [理由・意見] 既存事業だけでは政策の実現は難しいと考えられるため、「関心のある市民の割合」を向上させる新たな事業が必要である。調査、分析結果を基に、他部局とも連携して検討してほしい。

④～⑧「構成する施策」の再評価

内部評価の結果は ア 妥当 <input checked="" type="radio"/> イ 妥当ではない [理由・意見] 両施策併せて5年間で26億8千万円の事業費を投じているが、どちらの施策も達成度は「C」となっていることから、費用対効果についても「C」が妥当と考える。内部評価は、全体的に甘く評価されている。

⑨その他

今後取り組むべき(または力を入れていくべき)施策が ア ある <input checked="" type="radio"/> イ ない [理由・意見] [その他全体をとおしての意見、3次総に向けた意見・提案] 政策である「山村と都市が共生・共有するまちの実現」が、どのような「まち」なのか明確でないため、市民には、政策の目的を具体的に示す必要がある。

施策名 2-2-1 競争力のある観光資源づくり・シティイメージの定着

氏名 _____

代表指標①	お茶・マグロ・ホビー・サクラエビを国内外に誇れるものと思う市民の割合 (H21) お茶93%・マグロ72%・ホビー69%・サクラエビ93% → (H26) お茶95%・マグロ80%・ホビー80%・サクラエビ95%
-------	--

以下の外部評価欄の選択肢に○を付け、理由や意見を記載してください。(「妥当」の場合は、○を付すだけでも結構です。)

①「指標の適確性」の再評価

内部評価の結果	外部評価
①多数ある観光資源のうち、食とホビーに焦点をあてたことは、市民にもわかりやすく、具体的であるため妥当である。 ②スポーツ、文化等に関する指標もあるべき。 ③施策は、「競争力のある観光資源づくり・シティイメージの定着」であるため、市民アンケート結果ではなく、首都圏での認知度など、外から見た指標であるべき。	内部評価の結果は ア 妥当 イ 妥当ではない [理由・意見]

②「施策の課題と原因」の再評価

内部評価の結果	外部評価
【課題】 多数ある観光資源の競争力強化に取り組む必要がある。 【原因】 本市観光資源の他地域との差別化、PRが十分ではない。	内部評価の結果は ア 妥当 イ 妥当ではない [理由・意見]

③「課題解決の方向」の再評価

内部評価の結果	外部評価
【課題を解決するための取組】 関係団体と協力して、観光資源を活用したシティイメージの定着を図っていく。	内部評価の結果は ア 妥当 イ 妥当ではない [理由・意見]

④～⑧「構成する主要事業」の再評価

内部評価の結果は	ア 妥当	イ 妥当ではない
[理由・意見]		

⑨その他

今後取り組むべき(または力を入れていくべき)事業が	ア ある	イ ない
[理由・意見]		
[その他全体をとおしての意見、3次総に向けた意見・提案]		

施策名 2-2-2 観光・交流の活性化

氏名 _____

代表指標①	観光ボランティア参加者数 (H21) 314人→(H26) 500人
代表指標②	コンベンション・全国大会の年間誘致数 (H21) 190件→(H26) 230件

以下の外部評価欄の選択肢に○を付け、理由や意見を記載してください。(「妥当」の場合は、○を付すだけでも結構です。)

①「指標の適確性」の再評価

内部評価の結果	外部評価
現時点では、指標として適確である。 ①観光ボランティア参加者数の増加は、市民が一体となって観光客をおもてなしする姿勢の表れであり、観光入込客数の増加へとつながる。 ②コンベンション等の誘致数増加は、観光・交流の機会増加を意味し、活性化の指標として妥当である。	内部評価の結果は ア 妥当 イ 妥当ではない [理由・意見]

②「施策の課題と原因」の再評価

内部評価の結果	外部評価
【課題】 ①大規模なイベント等を誘致できないこと。 ②豊富な資源の活用不足と本市の知名度不足。 【原因】 ①大型コンベンション施設や宿泊施設等の不足。 ②既存資源に係る魅力の認識不足と情報発信不足。	内部評価の結果は ア 妥当 イ 妥当ではない [理由・意見]

③「課題解決の方向」の再評価

内部評価の結果	外部評価
【課題を解決するための取組】 ①観光客を受け入れるための体制づくり ②観光・交流プログラムの充実、国内外へのプロモーション強化	内部評価の結果は ア 妥当 イ 妥当ではない [理由・意見]

④～⑧「構成する主要事業」の再評価

内部評価の結果は ア 妥当 イ 妥当ではない [理由・意見]

⑨その他

今後取り組むべき(または力を入れていくべき)事業が ア ある イ ない [理由・意見]
[その他全体をとおしての意見、3次総に向けた意見・提案]

施策名 2-2-3 産業誘致と地域資源の商品化

氏名 _____

代表指標①	新規企業立地数 (H21) 17社→(H26) 87社
-------	-----------------------------

以下の外部評価欄の選択肢に○を付け、理由や意見を記載してください。(「妥当」の場合は、○を付すだけでも結構です。)

①「指標の適確性」の再評価

内部評価の結果	外部評価	
①産業活性化の指標の一つとして企業立地件数は妥当。物流量も代表指標となりえる。 ②地域資源を活用した商品化についても指標を追加すべき。	内部評価の結果は	ア 妥当 イ 妥当ではない [理由・意見]

②「施策の課題と原因」の再評価

内部評価の結果	外部評価	
【課題】 ①企業立地が十分に進んでいない。 ②港の貨物取扱量が10%以上減少。 ③地域資源の商品化は進んでいるが販売に繋がっていない。 【原因】 ①企業のニーズと本市の現状(地価・土地面積等)が折り合わない。 ②景況が回復していない。 ③販売のノウハウ不足(販路開拓・ターゲット設定等)	内部評価の結果は	ア 妥当 イ 妥当ではない [理由・意見]

③「課題解決の方向」の再評価

内部評価の結果	外部評価	
【課題を解決するための取組】 ①企業ニーズを把握するとともに、バックオフィスやコールセンターといった都市型産業誘致を強化する。 ②中部横断道をPRLし、貨物取扱量増加を図る。 ③既存の産業支援施設との連携や、商品開発については常に販売まで見据えた支援を進める。	内部評価の結果は	ア 妥当 イ 妥当ではない [理由・意見]

④～⑧「構成する主要事業」の再評価

内部評価の結果は	ア 妥当 イ 妥当ではない [理由・意見]
----------	-------------------------------

⑨その他

今後取り組むべき(または力を入れていくべき)事業が	ア ある イ ない [理由・意見]
[その他全体をとおしての意見、3次総に向けた意見・提案]	

政策名 2-2 人々や経済の交流が活発なまちの実現

氏名

代表指標① 年間観光入込客数 (H21)25,095千人→(H26)26,500千人

以下の外部評価欄の選択肢に○を付け、理由や意見を記載してください。(「妥当」の場合は、○を付すだけでも結構です。)

①「指標の適確性」の再評価

内部評価の結果	外部評価
①観光入込客数は活況の源泉であり、人や経済の交流度合いを測る指標として妥当である。 ②経済に視点を当てた代表指標も必要である。	内部評価の結果は ア 妥当 イ 妥当ではない [理由・意見]

②「政策の課題と原因」の再評価

内部評価の結果	外部評価
【課題】 ①観光入込客数の増加要因は三保松原の富士山世界文化遺産構成資産登録効果(三保松原周辺観光地への客数増加)であり、当該観光客を全市的に周遊させること。 ②一時的な三保松原特需とならないよう継続的に観光客誘致に努める必要がある。 【原因】 ①三保—日本平ラインから、旧静岡市側への観光客誘致に繋がっていない。 ②市内外でのPRが不足している。	内部評価の結果は ア 妥当 イ 妥当ではない [理由・意見]

③「課題解決の方向」の再評価

内部評価の結果	外部評価
【課題を解決するための取組】 ①市内観光地の有機的な繋がり強化。 ②既存事業の着実な実施とブラッシュアップ。 ③引続き市内外でのPR実施。	内部評価の結果は ア 妥当 イ 妥当ではない [理由・意見]

④～⑧「構成する施策」の再評価

内部評価の結果は ア 妥当 イ 妥当ではない [理由・意見]

⑨その他

今後取り組むべき(または力を入れていくべき)施策が ア ある イ ない [理由・意見]
[その他全体をとおしての意見、3次総に向けた意見・提案]